

軽鋳金システム



ケンテックスから

軽鋳金システムの御提案！！



株式会社ケンテックス
神奈川県横浜市都筑区折本町 354
TEL045 - 474 - 0805 FAX045 - 474 - 0824
<http://www.k-kentex.co.jp/>

はじめに



車体整備の需要と最近のユーザーの動向

1. 自動車の「小キズ」軽補修のマーケット（平成 10 年 3 月末日調べ）

1. 走行している車両の 60% が補修の対象車両です。

（現在の車両台数は）

1. 軽自動車	約 8,910,000 台
2. 普通乗用車	約 29,210,000 台
3. 大型乗用車	約 13,010,000 台
4. トラック	約 18,630,000 台
5. バス	約 240,000 台
合計	72,856,583 台

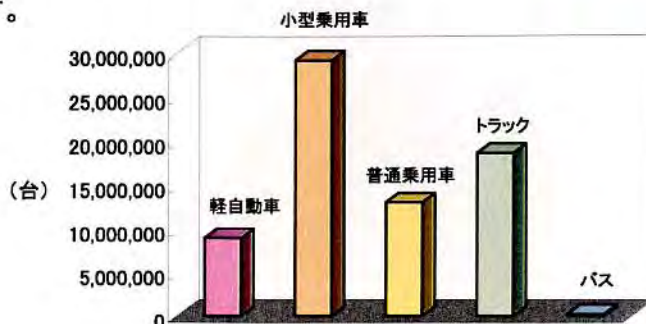


図 1. 現在の車両台数比較

2. 「高車齢化」は、軽補修の最も大きなマーケットです。

1. 現在の車両の買い替え（車両使用期間）は、平均 約 7～9 年です。その間は、修理を必要とします。

3. 軽補修は、集客のための営業展開を行いやすいビジネスです。

（事故車修理業・医者・葬儀社は、「またのご来社を…」と言えない商売です。）

（現在の事故車市場は）

1. 大損傷車	50万円以上	約 3～5%
2. 中損傷車	20～50万円	約 19～25%
3. 小損傷車	20万円以下	約 75～78%

大損傷車 約 3～5%
中損傷 約 19%～25%
月に多少異なります。



小損傷車 約 75～78% 図 2. 現在の事故車市場

4. 有利なポジションを活かした販売促進活動で集客できます。

1. 自社の業態の中で、来店客の掘り起こしが出来ます。
2. 来店客に、ステージ（補修作業の工場）を、見ていただくことにより作業の信頼が高まります。
3. 軽補修の技術習得で、現在の業務に付加価値を付けることができます。

1. 現在の店舗に軽補修を追加することで収益の増大が可能です。

2. 車両補修で部品の販売利益が出来ます。

（プラスの付加価値は）

3. 技術習得によりボディーコーティング作業の時間短縮と精度が高まります。

4. エアロパーツの販売と塗装及び取付け等の新しい業務が構築できます。

5. リサイクル部品の活用により、低料金で高収益のサービスを提供することも可能です。

5. ユーザーの補修に対する選択の動機は、圧倒的に安い補修価格です。

1. 設備投資金額をできるだけ抑え、競争力のある技術を習得し、高収益の得られるシステムをご選択下さい。
2. 価格と技術の信頼を勝ち取るために、お客様自身が損傷補修価格を一目で判断できるように損傷修理のサンプルなどを展示してください。

魅力いっぱいのニュービジネスをご提案します



新車販売上の低迷、車検制度の見直し等、長引く不況をいかにして打破するかをもう一度考える必要があるのではないのでしょうか。ケンテックスでは、自動車ディーラー・専門整備工場・ガソリンスタンド等を経営される方々が新しい収益を確保できる、画期的かつ安定経営基盤を築く大きなビジネスチャンスをお提供します。

◆ 軽钣金・塗装市場は1兆円規模

車体整備の分野で、いま大きく注目されているのは、ボディの線キズや擦りキズ・小さな凹みなど、保険の対象とならない軽钣金・塗装修理の分野です。高車齢化の進行などによって、軽钣金・塗装の市場は年々拡大し、現在では1兆円の潜在需要があるといわれています。



◆ 少ない投資、現在の人員で安定収益が可能

軽钣金・塗装のもう一つの魅力は、比較的少ない設備投資で安定収益が可能なおことです。作業スペースがあれば、簡単な工具を備えつければOK。また、人員も現在のスタッフを研修によって育成できます。



◆ 来店時や新車発表会・車検時に声かけのできる ディーラー、専門整備工場、SSは最も有利な条件

軽钣金・塗装のニーズは、積極的な働きかけによって、はじめて顕在化します。钣金工場に比べて来店頻度が高いディーラー、専門整備工場、ガソリンスタンドは、来店時など声かけのチャンスが多いことから、軽钣金・塗装を事業化する最も有利な条件を備えています。



◆ 明確な料金、 スピードがユーザー獲得のポイント

軽钣金・塗装のニーズをキャッチするポイントは、明確な料金と作業のスピードです。これまでの钣金工場に不足していたこの2つの条件を満たすことによって、潜在化していた需要は一挙に顕在化すると予想されます。これは新しい市場を創出する絶好のチャンスです。



◆ 車検・整備に続く トータルカービジネスのステップ

これからの厳しい時代を勝ち残るためには、トータルカービジネスの方向に積極的に業態を転換し、高収益体質を実現していく努力が求められます。軽钣金・塗装は車検・整備に続くトータルカービジネスのステップを築くとともに、将来の付帯収益拡大に欠かせない要件となるでしょう。



短期間で軽钣金・塗装の技術取得と事業化が可能です



リペアキングシステムは、ディーラー、専業整備工場、SSの立地や特性に合わせて、短期間で軽钣金・塗装の事業化を可能にした画期的なシステムです。

1. 研修から事業化までを トータルにサポートします

軽钣金・塗装の専任スタッフの育成から、設備・工具の導入、販促ツールやノウハウの提供まで、事業化をトータルにサポートします。

2. 信頼度の高い技術指導と フォローを行います

短期集中研修によって、未経験のスタッフを即戦力に育成します。また、事業開始後も技術に関するお問い合わせにお応えするFAX質問センターを設置しています。

3. 高度な補修サービスの提供が可能です

単なる線キズや擦りキズの補修から、凹みキズまでの高収益な補修を対象とした事業化が可能です。



4. 作業スペースや条件に合わせて、 3つのコースから選択できます

ディーラー、整備工場、SSなどの立地やスペース、人員など条件に合わせてA、B、C、3つのコースから最適な事業プランを選択できます。将来は技術の習熟に合わせて、グレードアップすることも可能です。



1. 塗料のデリバリー、調色指導など アフターサービスも万全です

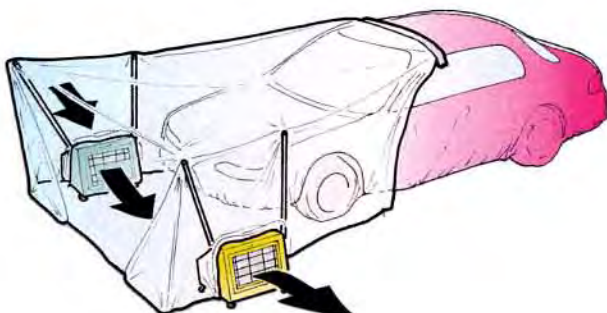
塗料在庫をもたないA、Bコースの場合は、FAXでの注文で速やかに指導の塗料をお届けするデリバリーサービスがご利用いただけます。調色機と塗料（原色）在庫を自社保有するCコースの場合は、納入時に調色の現地指導を行います。

2. コースごとに機械、工具をセットで提供、 オリジナルローンもご利用いただけます

A、B、Cそれぞれのコースごとに必要な機械、工具をセットで提供します。また、機械、工具のご購入にあたっては、ローンもご利用いただけます。

3. 環境対策にも十分に配慮します

作業場で塗装を行う場合、周囲の環境に対して十分配慮することが必要です。リペアキングシステムでは、簡易塗装ブース（KENTEX特許）の提供など作業環境にも万全の配慮を行います。



4. 事業拡大ニーズに対する、 コンサルティングを行います

リペアキングシステムを導入していただいた皆様には、より本格的な钣金事業へステップアップするためのコンサルティングを行っています。





特性に合わせて3つのコース をお選びいただけます

★ セット価格＝機械・工具＋技術研修

	A コース	B コース	C コース
補修範囲	フェンダー、ドア、バンパー等の側面縦 10cm×横 20 cm 程度	フェンダー、ドア、バンパー、ボンネット等の側面縦 20cm×横 30 cm程度	B コースと同じ
キズの状態	擦りキズ、線キズ	擦りキズ、線キズ、凹凸のあるキズ	B コースと同じ
見積もり作業	●	●	●
钣金作業	—	●	●
パテサンディング作業	●	●	●
下地作業	●	●	●
色別判断	●	●	●
調色	—	—	●
塗装作業	●	●	●
乾燥作業	●	●	●
磨き作業	●	●	●
基本研修期間	4 日間	6 日間	8 日間
追加研修期間	4 日間	6 日間	8 日間
セット価格 (追加研修込み)	1,450,000 円	4,150,000 円	5,500,000 円

※上記の作業内容は、あくまでも導入後3ヶ月程度の作業レベルです。その前後では、作業レベルは異なります。

各コースの主な機械・工具



パテックスRMシステム



電気ドライヤー



スピードファイル



赤外線乾燥機 3kw ヒーター



赤外線放射温度計



バフレパッドセット



スプレーガン



シンナー用小分け角缶



フレキシブルパッドセット



SATA ミニジェット



パテヘラ、パテ練り台



電動ポリッシャー



防毒マスク



書庫 (工具を収納した状態)



RM ポリッシングシステム

A コース

A コース

A コース

各コースの主な機械・工具



ベルトサンダー



タガネセット



簡易タワーM/S



シングルサンダー



パテシステムPテクニック



チェーンプラー リッキーII



マルチミニサンダー



スタッド溶接機



床固定ベースフック6枚



ナラシハンマー



溶接用保護シート



カラーマスターM/S



集塵機付きツールワゴン



固定用チェーン チェーンフック A



クイック簡易ナイロンブース

Bコース

Bコース

Bコース

各コースの主な機械・工具



ドライガイドコート



ティントビジョン



SATA ジェット



AP 当てゴムセット



ペイントスケール



のぼり、横幕、看板



塗料ダイヤモンドシステム



ミキシングマシーン



ルビーヒーター

Bコース

Cコース

オプション

充実した研修施設での集中研修で即戦力を養成します



リペアキングシステムでは、当社のプロスタッフによる技術指導で、貴社のスタッフを即戦力に育成する集中研修を行います。



研修カリキュラム

(6日間、8日間コース)

	座学研修	実技研修
1 日目	<ul style="list-style-type: none"> ● 開講の挨拶 ● 参加者自己紹介 ● 研修施設ご利用案内(宿泊所、日報、タイムカード) ● 作業の安全と衛生 ● 修理工程の一連の流れ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修用パネルにて 損傷確認、マーキング、足付け、パテつけ パテサンディング、目消し、マスキング ● パテ練りトレーニング
2 日目	<ul style="list-style-type: none"> ● 塗装と塗料の基礎知識 ● 塗装の方法と基礎 ● 補修塗装 	<ul style="list-style-type: none"> ● スプレーガン取扱い ● 研修用パネルにて サフェーサー塗布、乾燥、水研ぎと足付け、 ブロック塗りクリヤー、乾燥、磨き
3 日目	<ul style="list-style-type: none"> ● 補修塗装 ● ベースのボカシ技法 ● シンナーの選択 	<ul style="list-style-type: none"> ● カラーマスター 取扱い説明、比色と調色作業、 ● 研修用パネルにて 足付け、クリーニング、ベースのボカシ、 クリヤー 乾燥、磨き
4 日目	<ul style="list-style-type: none"> ● 钣金の必要性 ● 修理方法の分類 ● スタット溶殖機による修正 ● 絞りの原理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実車にて钣金作業 損傷確認、塗膜剥離、プレートによる引出し マルチプラーによる引出し、フェザーエッジ
5 日目	<ul style="list-style-type: none"> ● パテの種類と使い分け ● ペーパー番手の選択 空研ぎ、水研ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実車にてパテサンディング作業 スケールの動かし方応用、バンパー補修 サフェーサー
6 日目	<ul style="list-style-type: none"> ● クリヤーのボカシ技法 ● 上塗り準備 マスキング、クリーニング ● 六日間のまとめ (Bコース) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修用パネル又は、実車にて上塗り作業 クリヤーのボカシ、磨き
7 日目	<ul style="list-style-type: none"> ● 調色作業について 微調色の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ● 計量器の取扱い方 計量調色 ● 調色カードに吹き付け ● 実車にて塗装作業
8 日目	<ul style="list-style-type: none"> ● 八日間のまとめ ● 閉講の挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実車によるトレーニング



研修施設

最新悦の設備を備えた研修施設で
知識・技術をマスターしていただけます。

●実技施設

作業者の安全と環境に配慮した钣金スペース、高機能
プッシュプル式温風塗装室、調色作業室を備え、効率
的に钣金・塗装の実技を習得することができます。

●研修施設

設備機器の技術、見積作成等、軽钣金・塗装の事業化
に必要な知識・ノウハウ習得のための研修をおこない
ます。



設備概要

- 見積もりコンピューター（アウダ・CD-1）
 - 車体修正機 アライメントリフト兼用型
 - 車体修正機 ストロングタワー10トン・25トン
 - 床集塵サンディング
 - 4輪アライメントテスター
 - 修正用車体計測器
 - 水冷式スポット溶接機（安全ボディー対応）
 - ミグ溶接機・プラズマ切断機
 - 塗装室（高温塗装焼付け乾燥室）前&横移動型
 - 車輛横移動式エアリフト（ハークレス）
 - 日本RM塗装及び教育設備機器
 - 高圧コンプレッサー7.5kwドライヤー付き
 - 塗装近赤外線乾燥機6台
 - イージーグラフィックス（木目塗装）教育機材
 - エアーブラシ教育機材
 - TOTO hidrotekt ボディーコーティング
 - 座学研修教室 2階 40名収容（暗室使用）
 - 座学研修教室 1階 40名収容
 - カラー調色研修教室 15名収容
- テレビモニター機器
- 研修貸出ビデオ（デジタル・アナログ）
 - テレビモニター25型（1階）
 - テレビモニター25型・37型・100型（2階）
 - OHP、ビデオプロジェクター（2階）
 - プロ用教育ビデオカメラ及び編集機器
 - 放送設備
 - カラーコピー及び各種印刷、編集機器
- 敷地面積 約1000㎡
- 建設面積 1階 248.43
2階 182.18㎡

宿泊施設

研修中の宿泊施設として、提携ホテルがあります。

提携ホテルでは、割引価格にてご宿泊いた
だけます。（所在地：新横浜駅）





導入ご検討の場合は、下記ダイヤル宛、お電話またはFAX、メールでお申し込みください。

TEL : 045 - 474 - 0805

FAX : 045 - 474 - 0824

Mail : sales@k-kentex.co.jp

B・P テクニカルセンターヨコハマ

お問合せ



現地視察会



お申し込み



研修の実施



設備・機械・工具の搬入



現地調色指導
(Cコースのみ)



自社にて自主トレーニング



再研修



オープニングキャンペーンスタート

研修施設で現場の設備や実習の様子を視察し、事業導入をご検討いただきます。

当社システム導入についてのお申し込みをしていただきます。

当研修所において研修を実施します。

ご指定された場所へコースごとにセットされた設備・機械・工具をお届けします。

調色機の納入に合わせて、調色の現場指導を行います。

来店客へのチラシ手渡し、エリアへの配布など、オープニングキャンペーンを開始します。

ケンテックスから軽鋳金・塗装の新システムを新提案!!



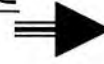
リペアキング

※ 当社独自の教育システムにより、鋳金塗装経験のない方でも短期間の研修で、鋳金塗装技術がマスターできます。

■ 出張先で修理ができる、デリバリーワゴンシステム。

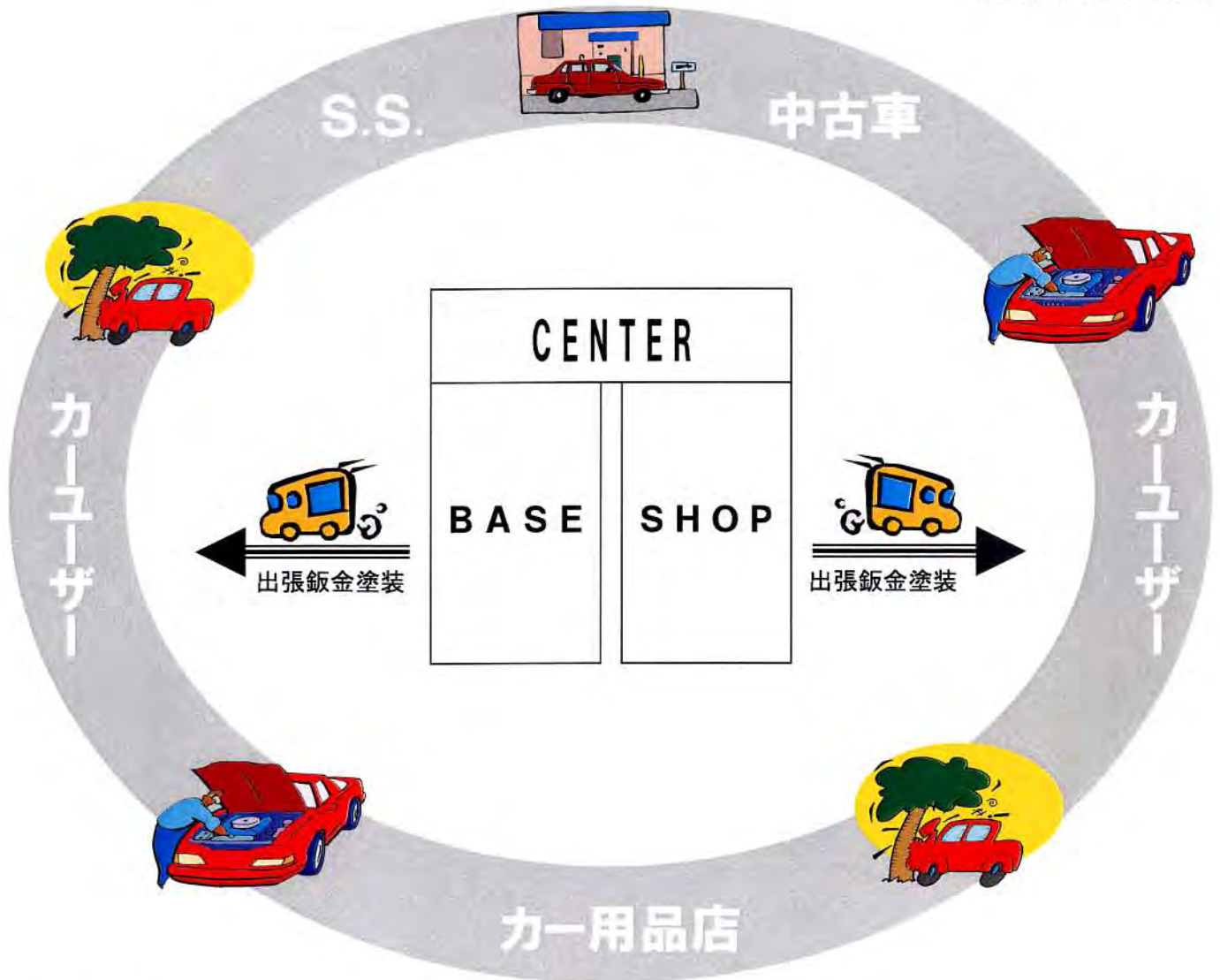
現在、修理の仕事は待っているだけでは入ってきません。お客様は、自分の都合に合わせてくれる鋳金塗装サービスを待っています。

当システムのすべての機材は、1BOXカーに積み込みができるようになっています。



システム内容

- ・ 軽鋳金塗装機器工具
- ・ 塗料
- ・ 副資材一式
- ・ 技術サポート(6ヶ月間)
- ・ 見積もりサポート(6ヶ月間)
- ・ 研修費(再研修費込み)
- ・ 100v とエアがあれば作業ができるように組んであります。



■ この不況の中、設備投資したくはないけれど軽鋳金事業に進出したい方々が、自社の店舗内で修理をしてくれる外注先を探しています。

最近、市場では軽鋳金塗装ビジネスに取り組むことがはやっていますが、この不況の中、事業に参入したくてもなかなか踏み出すことのできないお店がいっぱいあります。そのようなところは、自社店舗内で修理をしてくれる出張鋳金に興味を持っています。

夢の技術

TECHNOLOGY OF DREAM

【真空鈹金システム】

真空鈹金 型式VP-101

VACUUM PULLER

真空鈹金システムの特長

- ①この真空鈹金システムは、集客の手段として能力を大いに発揮します。
- ②専門知識をあまり必要としないので、経験の浅い技術者でも使用できます。
- ③短時間で仕上げられるため低価格で修理を提供できます。
- ④通常の鈹金作業と異なり、スタッド溶着機などの火気を使用する工具を使いません。
- ⑤そのため、パネルの内張りが燃える恐れがないので、脱着する必要がありません。
- ⑥塗膜剥離、足付け等が不要となります。(塗膜をいためず鈹金修正が可能になりました。)そのため、へこみの修復過程が目で見え判断できます。
- ⑦従来の鈹金修理を行う前に一度試してください。ダメージ箇所の縮小がはかれます。
- ⑧鈹金修理を外注依頼している場合は、事前に真空鈹金を行うことで外注費用を節約できます。

真空鈹金システムと接着引き出し鈹金システム

このシステムは、スタッド溶着機を使用しないでパネルのへこみを引き出すことができる修正工法です。但し、パネル強度のあるコーナー部、ロッカーパネル、タイヤハウス、極端なアール形状パネルの修正には、オプションの「接着引き出し鈹金システム」のツールを併用してください。

夢の技術【真空鈹金システム】を開発しました

皆様もこのような技術を考えてがありませんか。私たちは、「現実には程遠い」、「夢のまた夢」であるこのテーマに取り組んできましたが、ようやく実現することができました。真空鈹金システムは従来の鈹金技術と異なり、「火気を使用しない」「経験のある方でもない方でも同じ精度に仕上がる」「大幅な作業の時間短縮」「仕上がり精度の向上」などの特徴をもっております。もちろん、技術力向上を追求した教育指導もパッケージしてケンテックスよりお届けいたします。真空鈹金システムは画期的な新工法で、必ずご満足していただけることと思います。



STEP01



STEP02



STEP03



STEP04



STEP06



STEP05

業界別利用用途

ガソリンスタンド

SSの敷地内で、火気を多用する従来の鈹金を行うことには様々な規制があります。真空鈹金システムには火気を使用するツールがありませんので、簡単に新事業に参入できます。

中古車センター

入庫した車輛のへこみをすぐその場で引き出すことができます。そのため、鈹金修理を外注依頼している場合は、事前に真空鈹金を行うことで外注費用を節約できます。損傷によっては、塗装作業がいらなくらいの仕上がり精度を求めることができます。

ディーラー整備工場

鈹金塗装作業を内製化していない工場では、鈹金塗装修理を外注依頼する前に自社工場内で真空鈹金の作業をすることで、付加価値を30~40%高くできます。

鈹金工場

へこみの修復過程が目で見え判断できます。そのため鈹金作業の苦手な若い技術者の作業を30~40%時間短縮させることが可能となり、精度の高い鈹金作業ができます。

今はやりの軽鈹金ショップ

30~40%の作業時間の短縮が可能で、「キズ修理45分」が「凹みの修理45分」も可能となります。現在よりも、より幅広い顧客層を集めることができます。

ケンテックスから自動車の 軽鋳金・塗装システムを新提案 !!



リペアキング

※ 当社独自の教育システムにより、鋳金塗装経験のない方でも短期間の研修で、鋳金塗装技術がマスターできます。

■ 軽鋳金・塗装システムを御提供いたします。

■ 貴社オリジナルブランドとして当社のシステムを御提供いたします。

※ 当社ではシステム導入の際、加盟料もしくはロイヤリティは一切頂きません。

軽鋳金塗装システム



鋳金研修指導



塗装研修指導

塗料はドイツBASF(R-M)を使用 !!



ガハINSTANDに最適!!

ガハINSTAND等、火気類が使用できないという条件を満たすために、特殊接着剤を使用したパネル引出し作業の指導もいたします。



クイック簡易塗装ブース

実用新案登録番号
第3057919号

当社では正しいマニュアルに基づいた内容で研修を進めており、初めての研修生にも丁寧かつ分かりやすく作業を行っておりますので安心して受講していただけます。

すでに全国で **150 工場が**
当社の軽補修システムを導入済!!



当社オリジナルマニュアル

実績!! 自信!!

収益!!



システム内容

- ・ 簡易塗装ブース
- ・ 軽鋳金塗装機器工具
- ・ 塗料
- ・ 副資材一式
- ・ 通信機器一式
- ・ 技術サポート(6ヶ月間)
- ・ 見積もりサポート(6ヶ月間)
- ・ 研修費(再研修費込み)

システム導入の流れ

導入意志決定

機材の導入

8日間研修(座学・実技)

3週間の自主トレーニング

2回目の8日間研修

1週間の自主トレーニング

事業スタート



技術者養成設備完備!!

小損傷の鋳金塗装だけではなく、本格的なフレーム修正機を用いた修正や、高度な塗装の研修もお客様のニーズに合わせて行っております。クイック鋳金塗装システムから本格的な鋳金塗装技術にステップアップも支援いたします。



真空鋳金+接着鋳金システムで塗装をはがさないでも修理が可能な工法も、研修付きで行っています。

主要業務内容

- ・ 機械工具及び塗料の提案、販売、教育指導
- ・ B.P テクニカルセンターとしての技術者育成、教育指導
- ・ 横浜経営塾として経営者、後継経営者、幹部社員の育成
- ・ 全国各地の技術勉強会の支援及び技術指導
- ・ 損害保険各社への資料提供及び技術指導
- ・ 上記教育指導に関係するマニュアル、教育資料の作成
- ・ 日刊自動車新聞社、せいび広報社、自動車工学等、業界専門各誌への教育資料等受諾
- ・ 労働力確保推進事業の委託委員(車体整備協同組合の指導)
- ・ JAF 月刊誌(JAFMATE)の教材作成委託業務
- ・ 特殊機器の設計及び製作
- ・ 各メーカー、ディーラー系の鋳金・塗装技術のマニュアル作成及び技術指導

お問い合わせ先



株式会社ケンテックス (B.P テクニカルセンターヨコハマ)
神奈川県横浜市都筑区折本町 354
TEL045-474-0805 FAX045-474-0824
くわしくはホームページ <http://www.k-kentex.co.jp/>
担当者 菊地宏忠まで御連絡ください。